

# 福井県の魅力向上と地域発展に関する提言書

— 高校生が担う情報発信と創造による地域づくり —

私たちは、若狭地域の魅力を再発見し、それを未来へつなぐために、自ら情報を発信し、地域づくりに関わっていきたいと考えた。議員の方々との対話を通して、交通や観光の施策も、その地域に「行きたくなる理由」があってこそ成立することを学んだ。そこで、原子力に依存してきた地域の現状も踏まえながら、魅力ある若狭をつくるための4つの提言を行う。

## 1 「原子力と共に歩んだ地域のこれからを、若者と築く」

原発の恩恵とリスクを若者が主体的に学べる環境づくりを進めること。原子力による恩恵に支えられてきたこれまでの地域の歩みを尊重しつつ、観光や交通、情報発信など多様な地域資源を活用した自立的なまちづくりへの転換を、若者と共に県が主導して図ること。

## 2 観光振興に向けた福井の「魅力づくり」とその活用

福井の豊かな自然や伝統文化を生かし、地域住民と連携した滞在型・体験型の観光プログラムを開発するなど、他県との差別化を図った観光産業を創出すること。また、全国トップレベルの教育水準や子育て環境を積極的に発信し、「訪れたくなる、暮らしたくなる福井」としてUターンや移住促進につなげ、若年層の定着と人口減少の克服を図ること。

## 3 若者をつくる！ 福井の、若狭の「魅力発信戦略」の強化に向けて

SNS上で旅行者が特定のハッシュタグを付けて写真を投稿することで、県内の商業施設割引券や小浜線1日乗車券などが得られる仕組みを整備し、発信意欲を高めること。公式観光サイト「ふくいドットコム」については、県ホームページからの導線を改善し、SNSとの連携を強化すること。駅での観光情報掲示や、二次交通に関する情報提供も発信戦略に組み込み、観光体験の質を高めること。また、県の公式YouTubeやTikTokチャンネルを開設し、高校生がその企画・撮影・編集に参加することで、若者の視点を生かした魅力的な発信を行うこと。

## 4 観光と交通アクセスの地域間格差をどう埋めるか — 若狭地域からの提案

北陸新幹線の敦賀延伸によって観光客が増加している今こそ、その恩恵が若狭地域にも波及するよう、地域間の観光格差を是正する施策を強化すること。とくに、観光地へのアクセス手段が限られている若狭地域においては、バス・レンタカー・カーシェアなどの二次交通を戦略的に充実させること。その際、市町の主体的な取組を促すために、県が制度・財政両面から積極的な支援を行うこと。

令和7年8月4日

福井県知事 杉本 達治 様

福井県立若狭高等学校

チーム「WAKASA」

柳 原 悠 人    森 下 咲 来

藤 川 大 輝    吉 田 悠 希